

# 会を励ます等隊員機動 会が激励東北支部

## 350人超が出席

挨拶する伊藤支部長



機動隊員等を励ます会東北支部（支部長・伊藤暢日本機械工業社長）は10日、仙台市の仙台勝山館で「第39回東北支部激励会」を開催した。

当日は東北6県から機動隊員など警察関係者158人を含む総勢350人超が出席。初めに、伊藤支部長が

「震災から6年が経過し目に見える形で復興は進んでいるが、機動隊員の方々は行方不明者の捜索活動や原発影響による帰宅困難区域・居住制限区域における治安維持活動などの過酷な任務に引き続き従事されている。東北の復興や平穏な市民生活のために現場で尽力いただいていることに御礼申し上げるとともに、本日はひととき今後の任務への英気を養ってほしい」と挨拶。

続いて、本部から出席した羽矢惇理事は「昨年この会は熊本地震の発生に伴い秋の開催となった。先進国の中でこれだけ自然災害に見舞われるのは日本以外にはなく、それだけ機動隊員の方々の役割は大きい。今後も災害対応以外にも幅広い警備、警護活動に多くの国民が信頼と期待を寄せている。プロとしての鍛錬を忘れず国民の負託に応えてほしい」と述べた。

田寛釜石製鉄所長の万歳三唱で締めた。

このあと、得津八郎東北管区警察局長、高須一弘宮城県警察本部長の来賓挨拶に続き、新日鉄住金の天谷武東北支店長の発声で乾杯。フラダンスショーや懇談などの後、遠藤要岩手県警察本部警備部機動隊長の謝辞に続いて、新日鉄住金の米

鉄鋼新聞（平成29年5月15日）